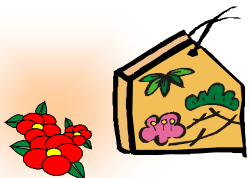


# 1月の安心かわら版

## 1月の主な行事

1日	元日	15日	警視庁創設記念日
6日	出初め式	17日	防災とボランティアの日
7日	七草	20日	大寒
10日	110番の日	24日	全国学校給食週間
11日	鏡開き	26日	文化財防火デー
12日	成人の日	27日	国旗制定記念日



## 今月のかわら版 : 1 「お正月の行事」

1月を正月と呼ぶのは、「正」と言う字に、年の初め、年を改めるという意味があるからです。昔から、その年の新しい歳神様を家族そろってお迎えし、祝う、大切な日とされています。

正月は、日本の行事の中でも最も古くから存在するものだとされています。年中行事を祝う家庭が少なくなっていますが、年の始まりを祝う正月は、特別行事として日本中で行われます。時代の流れとともに祝い方も変わってきていますが、新しい年の幸せを願う心は同じです。お正月の行事について、いくつかあげてみましょう。

**初詣** … 歳の初めに神社仏閣にお参りして、1年の無事息災を祈ること。古くは年籠り（としごもり）と言って、家長が祈願のため、大晦日の夜から朝にかけて氏神様の社にこもる、お籠り（おこもり）が習わしでした。元々は、氏神またはその年の恵方の方角の社寺に詣でること（恵方詣り：えほうまいり）が多かったのですが、現在では氏神や恵方とは関係なく各地の寺社へお参りするのが一般的になっています。



**鏡餅** … 鏡餅と呼ぶようになった由来は、ひとつには丸い餅の形が昔の銅鏡に似ていることから。古来から鏡は神様が宿るとされていました。神前に捧げた餅をみんなで分け合って食べることで、神様からの祝福を受けようという信仰の名残りです。

**お年玉** … お供え物として供えられたお餅を歳神様の賜りものとして、分け合って食べるようになったことが始まりとされています。年末に贈られる歳暮とは異なり、年少者や地位の低い人に贈ります。日本以外でも中国など旧正月に子供に金銭などを与える風習は、あるようです。

ここに紹介したお正月の行事は、ほんの一握りです。お正月の準備は大変ですが、ひとつひとついわれや意味があるもの。それを少しでも知っているとお正月を迎える準備は大切なことだと感じられ、楽しい気分にもなれそうですね。

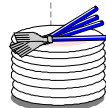
## 今月のかわら版 : 2 「エコな家事」

「地球に優しい」という表現が盛んに宣伝されて、エコ家電やエコカーなど世間では、エコ商品がブームとなっています。地球環境問題が高い関心を持ち始めたことで、いろいろなところで、エコに関する活動がなされています。

例えば電力消費量を抑えることができるエコ家電に買い替えると地球温暖化の原因になるCO2の排出量を抑えることができ、電気料金も安く仕上がるようです。でも、まだまだ使えるものを買い換えることは「もったいない」ですね。もっと身近なところでも「エコ」に取り組めるはずですよ。

家事で考えてみましょう。

◆重曹を使ってみては…  
食品として、クレンザーとして、また脱臭効果もあるので臭い取りにも使えます。少量の重曹を振りかけ、軽くこするだけで急須や湯のみの茶渋が落とせます。ペースト状にした重曹を塗り数分放置し、軽くこすり落とせばペトペトの油污れもすっきり落とせます。



◆水筒を活用しましょう…  
お箸を持ち歩く人は増えてきましたが、水筒を持ち歩いている人はまだ少数です。ペットボトルはリサイクル可能ですが、リサイクルするには膨大なエネルギーが使われます。近頃は、デザインも多彩なものが出回っているようです。

◆料理でリサイクル…  
もったいないと思いながら捨てていた残り物をおいしく変身させましょう。出汁をとった後の昆布や鰹節。細かく切って、フライパンで炒めてふりかけにしてみたいはいかがですか。ご飯と相性抜群です。他にもインターネットで検索すると、いろいろなエコクッキングレシピが掲載されています。

エコ活動の基本は、「リデュース（reduce：減らす）」「リユース（reuse：再利用する）」「リサイクル（recycle：再資源化する）」の3Rです。

エコロジーを考えながら家事をする。そして地球に優しい生活を始めましょう。